



## 金魚マイスターフォローアップ講座

～【金魚を飼う文化】大和郡山から発信～

金魚マイスターの皆さんと金魚に関するより専門的な内容を学ぶことにより、知識を深め、今後の活動に活かしてもらうことを目的に開講しました。

### 「金魚マイスターフォローアップ講座③」

日 時：平成31年 3月2日（土）14：00～15：30  
場 所：市民交流館 集会室  
内 容：金魚の育成について（中級）  
講 師 フジワラペットファーム 代表  
大阪ECO動物海洋専門学校 講師  
大阪動植物海洋専門学校 講師  
関西福祉大学付属金光藤蔭高等学校 特別講師  
観賞魚飼育管理士 藤原 宗爾 氏



品種によって、育て方は様々、好まれる体型・柄も様々・・・その辺りを重点に、藤原宗爾さんに詳しく講義していただきました。

【和金体型】丈夫で飼育しやすい品種ですが、元気なため、水槽から飛び出すという悲しい事故が時々発生しますので注意が必要です。広い環境でエサをしっかりと与え育てると、ぐんぐん成長します。好まれる柄は赤三段模様。



【琉金体型】体型重視の金魚。顔が小さく、体高があり、腹部が膨大なのが好まれる。尾付け部分が高いと転覆してしまいます。バランスの良い個体を育成するのが理想☆。琉金なら更紗柄、キャリコならモザイク透明鱗《頭に赤、背に浅葱、尾は蛇の目模様》理想であり、なかなか出ない柄です。



#### 【オランダ体型】

肉瘤を出すには、**系統・飼育環境・エサやり**が大切です。水深を浅くし、肉瘤を発達させます。エサは高タンパクな物をしっかりあげましょう。好まれる柄は、オランダは鹿の子模様。東錦はモザイク透明鱗。



#### 【らんちゅう体型】

背鰭の無い品種であり、飼育は難しいと言われています。難しいからこそ愛好家も多い。



### ♪ぷっくりとした体型のピンポンパール♪

稚魚の時にしっかりとエサを与えてまん丸にします。エサやりを怠ると、細い体型になってしまいます。水深を浅くし、数をつめ、エサを与えて、泳がさない！！不健康なメタボ体型にするのです。丸々として可愛いけど・・・(。\_。)



### ♪顔に大きな袋を付けた水泡眼♪

水泡が左右均一で大きいものが好まれます。水泡が破れてしまうと、再生はするけど元の大きさには戻りません。まず、胴体を作るためにエサをしっかりと与え、エサを減らして水泡を作り、最後に鰭を作ります。



### 《 水換えについて 》

タイミングは人それぞれ。水が透明であっても水質悪化している場合があるので、魚の様子をしっかりと観察する必要があります。

### 《 エサやりについて 》

成長期には高タンパクのエサ。低水温の時期は、消化不良を起こさないように低タンパクのエサをあげる。魚を大きく立派に育てたい場合は、良質のエサを一度に数分で食べきれぬ量を何度もあげます。

健康に長生きさせたい場合は、2～3回/日 少量ずつ与えます。



### Q) 体高出すには水深深く、肉瘤出すには水深浅くって いわれるけど何センチくらい？

A) 体高出すには水深 1m、肉瘤出すには水深 30cm。

ただ・・・深ければ深いほど良いというわけでもなく、3mの水槽でいろんな品種の金魚を飼育した人がいたようですが、最後に残るのは和金体型の金魚だったそうです。



今年も講師の藤原さんから金魚マイスターに卵や孵化した稚魚のプレゼントをしていただきました☆  
昨年の稚魚は金魚マイスターの各家庭で1年間飼育され、かなり大きくなっているとお聞きしています。

育成の学習をし、稚魚からの飼育実践をすることにより、講義内容が身についたのではないのでしょうか。  
今年は、孵化前の卵もありましたので、ハードルが上がっています。(^^; 大きく育てて、成長した姿を見せてくださいね。楽しみにしています。

問合わせ先：〒639-1198

大和郡山市北郡山町248-4 大和郡山市役所 農業水産課

TEL 0743-53-1158(直通) FAX 0743-55-4911